

粗飼料価格高騰緊急対策事業とは

事業概要

【事業概要】 近年の原油価格の高騰、円安等により、粗飼料価格が高騰しており、畜産経営を圧迫しているため、輸入粗飼料の乾牧草及び稲わらの購入価格の一部を補助することで、飼料価格高騰の影響を緩和し、畜産経営の維持を図る。

事業期間：令和5～6年度

総事業費：令和5年度65,615千円（うち補助金：65,405千円）

令和6年度21,821千円（うち補助金：21,611千円）

R5～6年度実施内容

【内容】

県内畜産農家の粗飼料購入費の一部を補助する

【対象】

県内酪農・肥育牛を飼養している農家

事業実施の目的・効果

【目的】

粗飼料費の一部を補助することで飼料価格高騰の影響を緩和し、農家の経営維持に努める。

【効果】

生産コストの大部分を占める飼料費の低減による畜産経営の安定化

年度毎の取組



イメージ図

